

令和5年度の渇水状況と県の対応について(報告)

琵琶湖の現状 (令和6年3月5日午前6時 時点)

- 水位 : B.S.L. -33cm ※平年値 B.S.L. -8cm
- 降水量 (琵琶湖流域平均降水量の月毎の累計値)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
降水量 (mm)	109	107	97	96	122	105
平年値 (mm)	204	142	98	125	122	99
平年比	53%	75%	99%	77%	100%	106%

これまでの経緯と今後の対応 ※今後の水位はおおよその目安

年月日	琵琶湖水位 (B.S.L.)	県の対応
令和5年10月25日	-49cm	水位低下による影響調査開始
11月14日	-60cm	水位低下抑制のための対応を国に要望
11月27日	-65cm	水位低下連絡調整会議(議長:土木交通部長)、影響調査開始
12月5日		影響調査結果公表
令和6年1月4日	-78cm	渇水対策本部設置(本部長:副知事)、影響調査開始
1月5日		渇水への対応を国・水資源機構に要望
1月16日		影響調査結果公表(以降、適宜更新)
○月○日	-30cm程度 まで回復	渇水対策本部解散

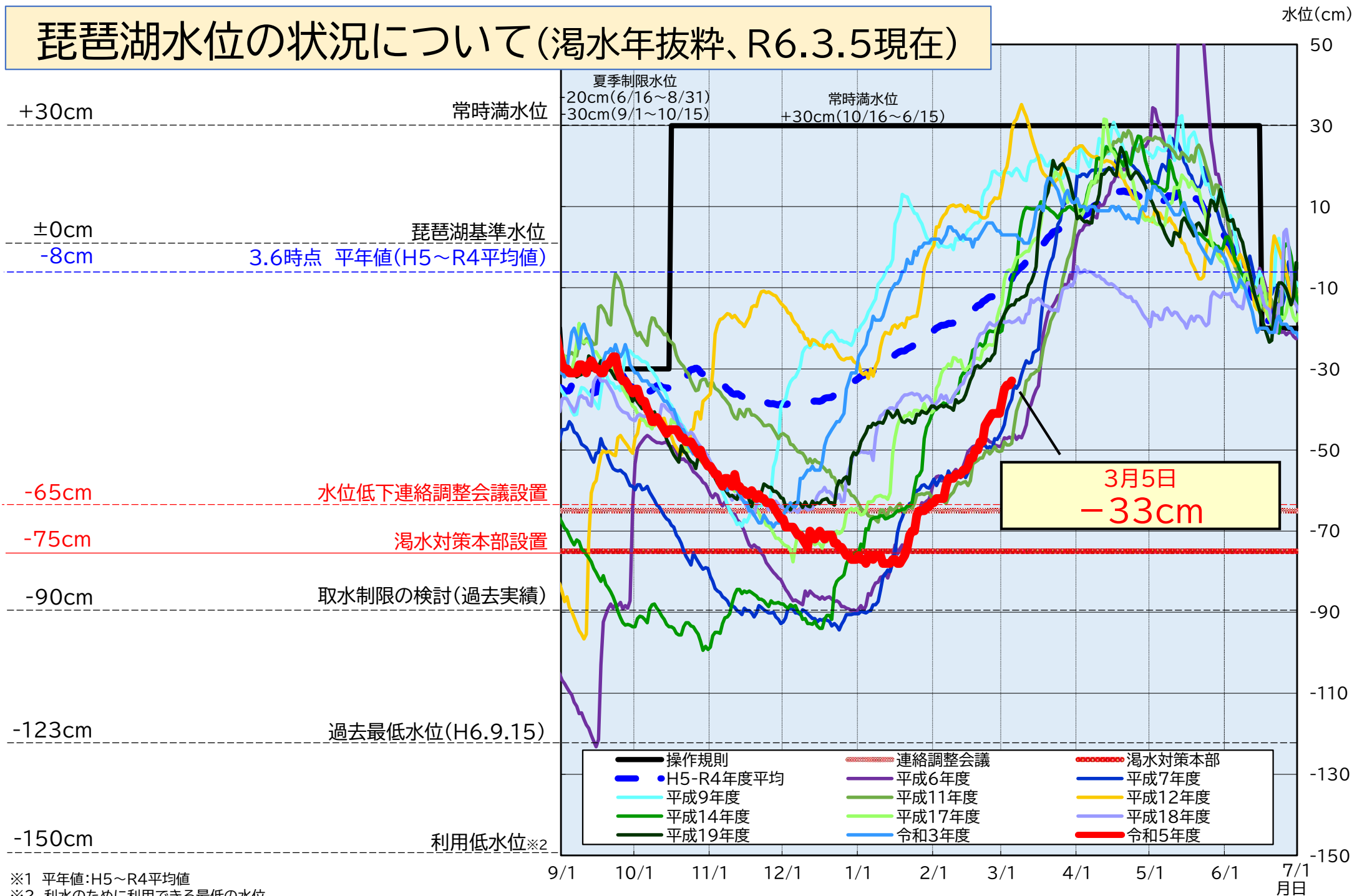
渇水に伴う状況調査結果について(概要)

- 社会面 : 船舶の航行障害、港湾施設の機能障害、漁業への支障、等
 - 環境面 : 干陸化(水際線の後退)、水草の浮遊・漂着
- ※詳細は別添「渇水に伴う状況調査結果について」参照
 ※3月4日時点で概ね影響は解消されていることを確認

渇水を機に実施した県の取組について(概要)

- 土木交通部 : 河口部の浚渫、護岸補修、湖岸整正、樹木伐採、等
- 他 部 局 : 一斉清掃運動時の清掃範囲拡大呼びかけ、湖岸の埋蔵文化財調査、等

琵琶湖水位の状況について(渇水年抜粋、R6.3.5現在)



※1 平年値:H5~R4平均値

※2 利水のために利用できる最低の水位

(黒字：令和5年12月1日時点)

(青字：令和5年12月22日時点)

(赤字：令和6年1月12日時点)

(緑字：令和6年2月9日時点)

濁水に伴う状況調査結果について（報告）

濁水に伴う状況調査（2月9日現在）を実施した結果、確認された影響等は次のとおりです。前回（1月12日）の更新から、変化はほぼありません。

1. 湖辺・港湾・舟溜等の状況

- ・一部で干陸化(水際線の後退)、水草の浮遊・漂着を多数確認したが、腐敗臭はほぼ発生していなかった（干陸化はやや解消）
- ・一部の港湾、漁港・舟溜、マリナーで岸壁等と船舶との高低差が大きくなることにより乗降、荷物の積下ろし、船の揚降に支障（報告事例が増加）
(びわ湖フローティングスクールでは、竹生島港において、乗降が危険となることなどから、竹生島見学を中止。長浜港への入港を中止。)

2. 水道関係(生活衛生課、産業立地推進室、企業庁)

- ・影響なし

3. 水質関係(琵琶湖保全再生課)

- ・影響なし

4. 森林関係(森林政策課)

- ・影響なし

5. 農作物(農政課、みらいの農業振興課、耕地課)

- ・影響なし

6. 水産関係(水産課)

- ・水深減による航行障害、漁港での漁獲物の荷揚げ等の作業性低下、瀬田川等一部の漁場の縮小や変更、漁船の舳先やスクリューの破損（報告事例が増加）
- ・水草が絡まりやすくなることによる航行障害
- ・エリの設置や補修の作業効率低下、南湖の一部のエリで休漁
- ・生簀の網地が着底することによる網の破損

7. 観光・レジャー関係(観光振興局)

- ・一部の観光用船舶で航路が浅くなり、運行に支障
- ・一部の湖上アクティビティに軽微な影響(サップのボードが湖底に当たるなど)

(黒字：令和5年12月1日時点)

(青字：令和5年12月22日時点)

(赤字：令和6年1月12日時点)

(緑字：令和6年2月9日時点)

8. 消防水利関係（防災危機管理局）

- ・一部で湖面からの取水が困難となっているが、近傍の消火栓などからの取水で対応可能となっているため、影響なし

9. スポーツ・学校関係（スポーツ課、教育総務課）

- ・漕艇場周辺の水深減による競技艇の座礁や作業船・救助船のプロペラ破損
~~藻が水面に露出し、ボートのオールに絡むなどの支障~~（水面の藻がなくなり、
解消）

10. 文化財関係（文化財保護課）

- ・坂本城跡、長浜城遺跡が露出

11. その他

- ・奥の洲（長浜市）周辺のヨシ条例に係る保護地区の一部で、観光客による植物踏み荒らし（琵琶湖保全再生課）

(参考・琵琶湖水位)

・12月1日・・・-67cm

・12月22日・・・-73cm

・1月12日・・・-78cm

・2月9日・・・-57cm

近年の渇水状況

年度	最低水位	取水制限実績		
		第1次	第2次	第3次
平成6年度 (渇水対策本部設置)	−123cm (H6.9.15) (過去最低水位)	−94cm ○	−108cm ○	−116cm ○
平成7年度 (渇水対策本部設置)	−94cm (H7.12.23、24)	—	—	—
平成9年度 (水位低下 連絡調整会議設置)	−69cm (H9.11.14)	—	—	—
平成11年度 (水位低下 連絡調整会議設置)	−68cm (H12.1.9)	—	—	—
平成12年度 (渇水対策本部設置)	−97cm (H12.9.10)	−95cm ○	—	—
平成14年度 (渇水対策本部設置)	−99cm (H14.10.29~11.1)	−94cm ○	—	—
平成17年度 (渇水対策本部設置)	−78cm (H17.12.5)	—	—	—
平成18年度 (水位低下 連絡調整会議設置)	−66cm (H18.11.19)	—	—	—
平成19年度 (水位低下 連絡調整会議設置)	−65cm (H19.12.4)	—	—	—
令和3年度 (水位低下 連絡調整会議設置)	−69cm (R3.11.27)	—	—	—